

IX 調査票（単純集計結果）

平成 21 年度 高知県県民世論調査票

1. 県の基本政策について

高知県では、現在、県勢の浮揚を図り、将来に希望の持てる県づくりに向けて、5つの基本政策に基づいた取組を進めるとともに、それらの政策に横断的にかかわる2つの事業に取り組んでいます。

【5つの基本政策】

①経済の活性化

(県民所得の向上と経済の抜本的な体質強化に向けた産業振興計画の推進、暮らしと雇用を守る緊急経済対策など)

②教育の充実と子育て支援

(学力向上・児童虐待等への取組、幼児教育と保育サービスの充実、県立大学改革など)

③日本一の健康長寿県づくり

(深刻な医師不足への対応、高齢者が安心できる地域ケア体制の整備など)

④インフラの充実と有効活用

(高速道路などの交通ネットワークの整備、ブロードバンド環境の整備など)

⑤県民の安全・安心の確保

(南海地震への備えと犯罪のないまちづくりなど)

【5つの基本政策に横断的にかかわる事業】

①中山間地域への総合対策

(水・交通の確保、鳥獣被害対策、所得向上の仕組みづくりなど)

②環境立県の推進

(地球温暖化防止対策、エコエネルギーと環境産業の創出など)

問1 この7つの政策・事業のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。 (2つまで○印)

	項目	回答数	回答比率
1	経済の活性化	1,131	72.1%
2	教育の充実と子育て支援	638	40.7%
3	日本一の健康長寿県づくり	141	9.0%
4	インフラの充実と有効活用	130	8.3%
5	県民の安全・安心の確保	385	24.5%
6	中山間地域への総合対策	292	18.6%
7	環境立県の推進	109	6.9%
	無回答	77	4.9%
	合計	1,569	-

問2 この7つの政策・事業以外に力を入れて取り組むべきだと考えられるものがあるれば、ご自由にお書きください。 (自由記入)

2. 産業振興計画について

本気で実行！
高知県産業振興計画

産業振興計画とは、高知県の経済を根本から元気にするためのトータルプラン（総合計画）として、昨年度、多くの県民の方々に参画いただいて策定した計画です。県民が一丸となって同じ方向に力を合わせて進む旗印となるように、生産から流通・販売までを見とおし、産業どうしのつながりを考えて策定しました。

計画では、3つの基本方向「足下を固め、活力ある県外市場に打って出る」「産業間連携の強化」「足腰を強め、新分野へ挑戦」に基づき、「地産地消」や「地産外商（*）」などの取組を進めることにしています。

※ 産業振興計画の動きがわかるテレビ特別番組（高知放送）

「Move!さんしん！ ～本気で実行！産業振興計画～」

放送日 9月20日（日） 16:25～16:55

再放送 9月26日（土） 14:30～15:00

*「地産外商」とは、地域の様々な資源を県外に売り出してお金（外貨）を稼ぐこと

問3 産業振興計画は、社会情勢の変化などを踏まえて毎年度改定することになっていますが、あなたは、今後、この計画をさらに充実するうえで、どのような施策を充実させるべきだと思いますか。【産業別】【方向性】それぞれにお答えください。（それぞれ2つまで○印）

【産業別】

項目	回答数	回答比率
1 農林水産業の振興に関する施策	1,107	70.6%
2 製造業の振興に関する施策	536	34.2%
3 卸・小売業の振興に関する施策	265	16.9%
4 観光の振興に関する施策	653	41.6%
5 その他	27	1.7%
6 わからない	98	6.2%
無回答	30	1.9%
合計	1,569	-

【方向性】

項目		回答数	回答比率
1	首都圏や近畿圏など、より大きな市場への売り出しや情報発信を行う地産外商の推進	521	33.2%
2	加工など、ものづくりをできるだけ県内事業者どうしで行う、ものづくりの地産地消の推進	343	21.9%
3	将来を見すえた輸出の振興を図るため、海外への地産外商に挑戦	90	5.7%
4	地元でつくったものを地元で消費する地産地消の徹底	340	21.7%
5	農林水産業と加工業、観光など、分野を超えた産業間の連携の強化	492	31.4%
6	それぞれの産業を担う人材の育成や担い手の確保	527	33.6%
7	成長が期待できる分野で、ものづくりの技術や素材の良さを生かした新たな産業の育成	348	22.2%
8	その他	18	1.1%
9	わからない	59	3.8%
	無回答	54	3.4%
	合計	1,569	-

問4 県では、本年度、計画を推進するために必要な予算や体制の充実を図り、その実行に取り組んでいます。今後さらに効果を上げていくために、特に充実すべき支援策は、どのようなことだと思いますか。（2つまで○印）

項目		回答数	回答比率
1	専門家のアドバイスや市場調査など経営情報面を支援する施策	384	24.5%
2	新品種や新商品の開発など技術面を支援する施策	514	32.8%
3	設備投資など資金面を支援する施策	411	26.2%
4	販売先の開拓やPR活動など販売面を支援する施策	542	34.5%
5	産業を担う人材の育成面を支援する施策	806	51.4%
6	その他	26	1.7%
7	わからない	73	4.7%
	無回答	38	2.4%
	合計	1,569	-

問5 産業振興計画を実現させて高知県の経済を元気にするために、あなたはどのようなことで参画できると思いますか。(3つまで○印)

	項目	回答数	回答比率
1	買物はできるだけ地域の商店街等を利用する	949	60.5%
2	県内産の農林水産物や商品を積極的に購入したり活用したりする	942	60.0%
3	県外の知人などに県内産の農林水産物や商品を贈ったり紹介したりする	682	43.5%
4	旅行やレジャーは、今まで以上に県内の観光地や施設等を利用する	190	12.1%
5	観光案内のボランティア活動への参加など観光客に対しておもてなしの心を持って接する	184	11.7%
6	県外の知人などに高知県の観光に来てもらうように紹介や呼びかけをする	291	18.5%
7	地域資源を使った新たな商品や料理メニューの開発などに取り組む	231	14.7%
8	日常の仕事の中で、生産活動の効率化や商品の魅力向上、販売力の強化、顧客サービスの一層の向上などに努める	250	15.9%
9	その他	24	1.5%
	わからない	43	2.7%
	無回答	34	2.2%
	合計	1,569	-

問6 県民一人ひとりが、身近なところで一層参画しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (2つまで○印)

項目		回答数	回答比率
1	計画の動きとともに、関連する県産品や観光などの具体的な情報を入手できる情報紙やホームページ等の充実	757	48.2%
2	実際に計画の動きを体感でき、取組に参加できるイベント等の開催	450	28.7%
3	県産品を手軽に購入したり、県外発送したりできる場所(仕組み)の充実	781	49.8%
4	県産品を使った料理や観光ガイドなどについて学べる講習会等の開催	218	13.9%
5	地域で県産品づくりや観光ボランティア活動などに参加できる機会の提供	211	13.4%
6	その他	32	2.0%
7	わからない	99	6.3%
	無回答	46	2.9%
	合計	1,569	-

副問 (問6で「3」を選んだ方のみお答えください。)

どのような場所(仕組み)が有効だと思いますか。 (2つまで○印)

N=781

項目		回答数	回答比率
1	県産品を販売する総合的なインターネットホームページの開設	347	44.4%
2	県産品の購入・発送が可能なチラシの作成	242	31.0%
3	各地域にある県産品直販所等の拡充	406	52.0%
4	高知市中心部での大規模な県産品販売施設の設置	291	37.3%
5	その他	32	4.1%
	無回答	4	0.5%
	合計	781	-
	非該当	788	-

3. 観光について

高知県では、産業振興計画の中でも即効性^{そつこうせい}があり、他の多くの産業分野^{はきやう}に波及効果のある観光の振興について、来年1月から大河ドラマ「龍馬伝」の放送にあわせて、「土佐・龍馬であい博」を開催し、それを核^{かく}に「滞在型・体験型観光」を県内各地域に広める取組を進めています。この取組は、「効果的な観光PR、プロモーション活動の展開^{てんかい}」や「県内の観光地を結ぶ交通手段の確保」をはじめとする「観光八策^{かんこうはっさく}」を推進するもので、現在、300万人強で推移^{すい}している観光客を400万人に増やし、1,000億円産業とすることをめざしています。

問7 あなたは、より多くの観光客の方々を迎え、観光による経済波及効果を高めていくためには、何を強化すべきと思いますか。(3つまで○印)

項目	回答数	回答比率
1 首都圏など県外に向けた観光PRの強化により高知県の認知度を向上させるべき	733	46.7%
2 周遊バス、観光タクシー、レンタカーなど県内の観光地を結ぶ交通手段を整備すべき	603	38.4%
3 四国4県が一体となって取り組む観光キャンペーン事業など広域的な連携を強化すべき	479	30.5%
4 まち歩き観光や体験型の観光など地域の資源を活かした観光ルートづくりを強化すべき	444	28.3%
5 「よさこい祭り」のような四季ごとに核となるイベントを育成すべき	407	25.9%
6 観光ガイドやインストラクターなど旅の魅力を高める人材を育成すべき	95	6.1%
7 宿泊施設、観光施設、交通機関などでの、おもてなしの心を持った接客サービスの提供を充実すべき	424	27.0%
8 観光施設・宿泊・交通・土産品などの情報をワンストップで提供できるインフォメーション機能を持った施設を充実すべき	298	19.0%
9 外国からの観光客を増加させるためPR活動や受入態勢づくりを推進すべき	79	5.0%
10 グリーンツーリズムの推進や地域産物の活用など、一次産業と連携した観光商品づくりを強化すべき	214	13.6%
11 スポーツのキャンプや合宿、見本市・全国大会などコンベンション誘致を強化すべき	301	19.2%
12 その他	57	3.6%
無回答	52	3.3%
合計	1,569	-

4. 地域福祉について

- ・ 高知県の人口は、平成2年から全国に15年先行して減少するとともに、高齢化率も県全体で27.6パーセント、町村部では35.7パーセントにも達するなど、全国に約10年早く高齢化が進展しています。これまで地域が担ってきた支え合いの力が弱まり始めています。
- ・ こうした中で、現在の国の子どもや高齢者、障害者の方々に対する各種の福祉サービスは、そのサービス分野ごとに細切れにして、全国一律で職員の配置や利用者定員などの基準が決められています。しかし、本県の中山間地域などでは、子育てや介護、自立支援など多様なニーズがありながらも、それぞれのサービスの利用者が少ないために、それぞれのサービスを細切れに提供する国の基準の下では、サービスが提供されにくい状況となっています。
- ・ このため、県では、地域の実情を踏まえ、今年度から市町村と連携して、これらの福祉サービスの隙間を埋め、子どもから高齢者の方まで、年齢や障害の有無にとらわれず、小規模でありながらも一箇所で必要なサービスを受け、ふれあうことのできる「あつたかふれあいセンター」を整備していくことにいたしました。
- ・ 県では、この「あつたかふれあいセンター」の取組をはじめとして、これまでの福祉という枠や概念を超えて、住民の方にも参加していただきながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける「高知型福祉」の実現を目指した取組を進めていくことにしています。

問8 あなたは、現在どの程度近所付き合いをしていますか。 (1つだけ○印)

項目	回答数	構成比
1 とても親しく付き合っている	136	8.7%
2 親しく付き合っている	509	32.4%
3 付き合いはしているが、それほど親しくはない	660	42.1%
4 ほとんど、もしくは全く付き合っていない	229	14.6%
無回答	35	2.2%
合計	1,569	100.0%

問9 地域での支え合いの力は以前と比べてどうなっていると感じますか。

(1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	弱まっていると感じる	876	55.8%
2	強まっていると感じる	80	5.1%
3	あまり以前と変わらない	576	36.7%
	無回答	37	2.4%
	合計	1,569	100.0%

問10 あなたは現在、どの程度地域での活動に参加していますか。

(1つだけ○印)

※ 「地域での活動」の例

- ・ ごみ拾いや溝掃除、草刈りなどの清掃活動
- ・ 自治会や町内会、こども会、公園愛護グループ等の活動 など

項目		回答数	構成比
1	積極的に参加している	253	16.1%
2	積極的ということではないが参加している	645	41.1%
3	頼まれたら時々参加している	255	16.3%
4	ほとんど、もしくは全く参加していない	384	24.5%
	無回答	32	2.0%
	合計	1,569	100.0%

副問 (問10で「4」を選んだ方のみお答えください。)

参加していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

N=384

項目		回答数	回答比率
1	参加する時間がない	158	41.1%
2	身近に団体や活動内容の情報がない	107	27.9%
3	参加したい活動や団体がない	57	14.8%
4	一緒に参加できる人がいない	72	18.8%
5	家族や職場の理解が得られない	7	1.8%
6	興味がわからない	61	15.9%
7	その他	82	21.4%
	無回答	4	1.0%
	合計	384	-
	非該当	1,185	

問 11 参加する場合の活動範囲は、どの程度までなら参加しようと思いますか。

(1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	自宅周辺であれば参加できる	884	56.3%
2	小学校区単位までなら参加できる	383	24.4%
3	特に地区などにこだわらず参加できる	223	14.2%
	無回答	79	5.0%
	合計	1,569	100.0%

問 12 地域での福祉に関するボランティア活動や地域活動で、あなたが参加したことがある、または、参加したいと思う活動はどれですか。

(当てはまるものすべてに○印)

項目		回答数	回答比率
1	高齢者に関する活動	324	20.7%
2	障害のある人に関する活動	165	10.5%
3	子育てに関する活動	188	12.0%
4	健康づくりに関する活動	336	21.4%
5	ごみ拾いや溝掃除、草刈りなどの清掃活動	976	62.2%
6	自治会や町内会、こども会、公園愛護グループ等の活動	522	33.3%
7	その他	38	2.4%
8	参加できない、したくない	151	9.6%
	無回答	59	3.8%
	合計	1,569	-

問 13 あなたや家族が、高齢や障害、病気等で日常生活を送るうえでサポートが必要となったとき、地域でどのようなサービス(支え合い活動)があれば良いと思いますか。
(3つまで○印)

項目		回答数	回答比率
1	定期的な安否の確認などの見守り活動	858	54.7%
2	食事の提供などの配食サービス	577	36.8%
3	買い物や病院へ行く場合などの送迎サービス	798	50.9%
4	緊急時の宿泊や一時預かりサービス	453	28.9%
5	庭の手入れ、電球の取り替えや簡単な大工仕事など日常生活の支援	294	18.7%
6	話し相手や相談相手	376	24.0%
7	緊急時の通報サービス	574	36.6%
8	その他	16	1.0%
	無回答	40	2.5%
	合計	1,569	-

問 14 住み慣れた地域で安心して生活していくための地域の課題^{かだい かいけつ}を解決していくうえで、行政と住民の関係について、最も近い考えはどれですか。
(1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	地域福祉の問題には行政が全面的に対応すべきなので、住民は特に協力することはない	41	2.6%
2	行政が実施し、行政の手が届かない部分に住民が協力していくべきである	316	20.1%
3	まず地域で助け合い、出来ない場合に行政が援助すべきである	223	14.2%
4	地域の課題について、行政も住民も協力しあい、ともに取り組むべきである	940	59.9%
5	その他	9	0.6%
	無回答	40	2.5%
	合計	1,569	100.0%

5. 地球温暖化対策について

私たちの日常生活の中で、豪雨や気温の上昇などの異常気象が近年増加していることを感じると思います。これは、二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化が進行している影響であると言われてしています。この地球温暖化をこれ以上進めないためには、私たち一人ひとりが、日ごろからエネルギーを使いすぎない環境にやさしい生活を送るように心がけることが大切です。

問 15 下の表は、地球温暖化を防ぐため、二酸化炭素等を出さない省エネの行動を挙げています。あなたは、地球環境を守るため、毎日の生活の中でどのような事を心掛け、実行されていますか。また、これからやってみようと思っていますか。

それぞれの項目について、「回答欄」内の1, 2, 3, 4, 5のいずれか1つだけに○をしてください。

- 1 既に取り組んでいる
- 2 今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい
- 3 取り組む機会はあるが、今後も取り組まない
- 4 取り組む機会がないので該当しない
- 5 わからない

	項 目	回 答 欄
1	エアコンの設定温度を、冷房は28℃、暖房は20℃にしている	1 2 3 4 5
2	冷房・暖房機器の使用時間を以前より減らす	1 2 3 4 5
3	テレビを見る時間を以前より1日1時間以上減らす（見ない時は消す）	1 2 3 4 5
4	冷蔵庫にもものを詰めすぎず、また扉を開けている時間を短くする	1 2 3 4 5
5	電灯・照明器具のつけっぱなしをやめる	1 2 3 4 5
6	今までよりワット数の小さい照明器具に取り替える	1 2 3 4 5
7	白熱球を省エネ型電球（電球型蛍光灯）に取り替える	1 2 3 4 5
8	省エネ家電に買い換える（エアコン・テレビ・冷蔵庫など）	1 2 3 4 5
9	エコバック、風呂敷など買い物時に袋を持参し、無駄なレジ袋の持ち帰りをしないよう心掛けている	1 2 3 4 5
10	通勤・通学には車を利用しない（バス・鉄道等の公共交通や自転車を主に利用する、又は徒歩）	1 2 3 4 5
11	エコドライブ（不用なアイドリングをしない。急発進・急加速はしない。アクセルをゆっくり踏む。）に取り組んでいる	1 2 3 4 5

1 エアコンの設定温度を、冷房は 28℃、暖房は 20℃にしている

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	749	47.7%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	441	28.1%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	74	4.7%
4	取り組む機会がないので該当しない	71	4.5%
5	わからない	39	2.5%
	無回答	195	12.4%
	合計	1,569	100.0%

2 冷房・暖房機器の使用時間を以前より減らす

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	913	58.2%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	356	22.7%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	46	2.9%
4	取り組む機会がないので該当しない	43	2.7%
5	わからない	28	1.8%
	無回答	183	11.7%
	合計	1,569	100.0%

3 テレビを見る時間を以前より1日1時間以上減らす（見ない時は消す）

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	675	43.0%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	501	31.9%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	132	8.4%
4	取り組む機会がないので該当しない	36	2.3%
5	わからない	48	3.1%
	無回答	177	11.3%
	合計	1,569	100.0%

4 冷蔵庫にものを詰めすぎず、また扉を開けている時間を短くする

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	882	56.2%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	380	24.2%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	65	4.1%
4	取り組む機会がないので該当しない	39	2.5%
5	わからない	32	2.0%
	無回答	171	10.9%
	合計	1,569	100.0%

5 電灯・照明器具のつけっぱなしをやめる

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	1,117	71.2%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	198	12.6%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	31	2.0%
4	取り組む機会がないので該当しない	16	1.0%
5	わからない	37	2.4%
	無回答	170	10.8%
	合計	1,569	100.0%

6 今までよりワット数の小さい照明器具に取り替える

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	330	21.0%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	746	47.5%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	138	8.8%
4	取り組む機会がないので該当しない	56	3.6%
5	わからない	89	5.7%
	無回答	210	13.4%
	合計	1,569	100.0%

7 白熱球を省エネ型電球（電球型蛍光ランプ）に取り替える

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	436	27.8%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	722	46.0%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	81	5.2%
4	取り組む機会がないので該当しない	45	2.9%
5	わからない	75	4.8%
	無回答	210	13.4%
	合計	1,569	100.0%

8 省エネ家電に買い換える（エアコン・テレビ・冷蔵庫など）

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	351	22.4%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	768	48.9%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	65	4.1%
4	取り組む機会がないので該当しない	89	5.7%
5	わからない	79	5.0%
	無回答	217	13.8%
	合計	1,569	100.0%

9 エコバック、風呂敷など買い物時に袋を持参し、無駄なレジ袋の持ち帰りをしないよう心掛けている

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	626	39.9%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	583	37.2%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	106	6.8%
4	取り組む機会がないので該当しない	36	2.3%
5	わからない	42	2.7%
	無回答	176	11.2%
	合計	1,569	100.0%

10 通勤・通学には車を利用しない（バス・鉄道等の公共交通や自転車を主に利用する、又は徒歩）

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	321	20.5%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	319	20.3%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	227	14.5%
4	取り組む機会がないので該当しない	349	22.2%
5	わからない	114	7.3%
	無回答	239	15.2%
	合計	1,569	100.0%

11 エコドライブ（不用なアイドリングをしない。急発進・急加速はしない。アクセルをゆっくり踏む。）に取り組んでいる

項目		回答数	構成比
1	既に取り組んでいる	766	48.8%
2	今は取り組んでいないが、取り組んでいきたい	329	21.0%
3	取り組む機会はあるが、今後も取り組まない	55	3.5%
4	取り組む機会がないので該当しない	122	7.8%
5	わからない	77	4.9%
	無回答	220	14.0%
	合計	1,569	100.0%

副問 (問 15 で、いずれか1つでも 「3 取り組む機会はあるが、今後も取り組まない」を選んだ方のみお答えください。)

あなたが、そのことがらに組みにくい理由は何ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

N=466

項目	回答数	回答比率
1 今までの生活習慣を変えにくい	171	36.7%
2 便利さ・快適さが失われると思うから	161	34.5%
3 時間に余裕がなくて、すぐ忘れてしまう	45	9.7%
4 私一人、あるいは家庭で取り組んでも効果がなさそう	20	4.3%
5 我慢することが多くて、長続きしない	45	9.7%
6 省エネルギー・省資源行動の効果に疑問がある	49	10.5%
7 取り組んでも家計にプラスになるとは思えないから	18	3.9%
8 企業等が対策を立てるべき、家庭で取り組むことではない	13	2.8%
9 今使っているものが十分使用できるので、新たな出費をしたくない	127	27.3%
10 買換えによって廃棄物が出るから	53	11.4%
無回答	100	21.5%
合計	466	-
非該当	1,103	

問 16 あなたは、地球温暖化防止に関する次のような^{もよお}催しや取組で、参加してみようと思うものはどれですか。(当てはまるものすべてに○印)

項目	回答数	回答比率
1 地域における地球温暖化防止活動の学習会(町内会などで講師を招いての勉強会)	383	24.4%
2 省エネや環境に関する催し(省エネのアドバイスなど)	615	39.2%
3 ライトダウンキャンペーンへの参加	523	33.3%
4 クールビズ、ウォームビズの職場などでの取組	374	23.8%
5 エコドライブ講習会	184	11.7%
6 その他	37	2.4%
7 参加してみようと思わない	208	13.3%
無回答	125	8.0%
合計	1,569	-

問 17 地球温暖化が進むなかで、今後どこが中心となって省エネルギーや省資源の推進に取り組んでいくことが大切だと思いますか。 (1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	行政	540	34.4%
2	企業	292	18.6%
3	県民	615	39.2%
4	その他	52	3.3%
	無回答	70	4.5%
	合計	1569	100.0%

問 18 また、次の取組の中で、より重点的^{じゅうてんてき}に行わなければならないことは何だと思いますか。 (3つまで○印)

項目		回答数	回答比率
1	家電製品等の省エネルギー技術の開発・製品化	601	38.3%
2	学校における環境教育の充実	495	31.5%
3	企業に対する行政の規制や指導の徹底	532	33.9%
4	地球温暖化に関する学習機会の充実	235	15.0%
5	行政やマスコミによる PR 活動	226	14.4%
6	行政による企業や家庭に対する融資や助成	422	26.9%
7	各家庭での、電気や水道など資源の無駄をなくす生活	831	53.0%
8	二酸化炭素の吸収を促すための森林保全活動	686	43.7%
9	その他	34	2.2%
	無回答	59	3.8%
	合計	1,569	-

問 19 あなたは、地球温暖化を防止するための次の取組についてどう考えますか。一番近いものを1つ選んでください。

①【レジ袋の削減^{さくげん}について】

私たちは、1年間に一人で約300枚のレジ袋をもらっており、これは石油約5.5リットルに相当し、二酸化炭素18kg^{はいしゅつ}を排出しています。

買い物の時に、マイバックや風呂敷などの買い物袋を持参し、無駄なレジ袋を持ち帰らないようにすることで、レジ袋を製造^{せいぞう}してから捨てられるまでに出される二酸化炭素の削減につながります。

県内ではレジ袋の有料化^{ゆうりょうか}（無料配布中止^{むりょうはいふ}）を行っている量販店^{りょうはんてん}もあり、取組が広がってきています。

あなたは、レジ袋削減について、どのようなお考えをお持ちですか。

（1つだけ○印）

項目		回答数	構成比
1	レジ袋の削減はすべきであり、有料化してでも進めるべき	752	47.9%
2	レジ袋の削減はすべきだが、有料化は好ましくない	638	40.7%
3	削減しなくてもよいので、無料配布を続けてほしい	98	6.2%
4	わからない	44	2.8%
	無回答	37	2.4%
	合計	1,569	100.0%

② 【省エネ製品の導入について】

エアコン・テレビ・冷蔵庫などの家電を買い換える際に、省エネ性能が高いものを選んだり、自動車の購入時には、ハイブリッド車などの低公害車を選ぶことなどで、二酸化炭素を出さない環境にやさしい暮らしに変えることができます。

現在次のA～Dに掲げる環境に配慮した製品については、それぞれ購入するにあたって、国の補助制度等が設けられています。

《参考》

A 省エネ家電エコポイント制度

環境に良い製品の購入に対して、様々な製品等と交換できるエコポイントを付与する。

B 環境対応車への買換え・購入に対する補助制度

古い車を廃車して環境性能の良い新車に買い換え、又は購入する場合に補助金を交付する。

C エコキュート導入補助金（エコキュートは、空気の熱でお湯を沸かす電気給湯器で、従来の電気給湯器と比べて低い消費電力で、また電気料金の安い深夜時間帯に稼働させてお湯を沸かすためランニングコストが抑えられる。）

エコキュートを設置する場合、1台あたり定額で補助金を交付する。

D 太陽光発電導入支援対策費補助金

一般住宅への太陽光発電システム設置について、設置する太陽電池モジュールの最大出力数に応じた金額の補助金を交付する。

あなたは、次の4つの省エネ製品について、どのようなお考えをお持ちですか。AからDについて、それぞれいずれか1つだけに○をしてください。

A 省エネ家電（エアコン・テレビ・冷蔵庫など）

（1つだけ○印）

項目	回答数	構成比
1 積極的に省エネ製品を選ぶ	300	19.1%
2 価格、製品の使い勝手、省エネ性能などを総合的に考えて選ぶ	961	61.2%
3 省エネ製品が環境によいことは理解するが、購入費用が高いので敬遠する	201	12.8%
4 省エネ製品を購入してもあまり効果はないと思う	38	2.4%
5 よくわからない	45	2.9%
無回答	24	1.5%
合計	1,569	100.0%

B 低公害車（ハイブリッド車、電気自動車など）

（1つだけ○印）

項目		回答数	構成比
1	購入する時には、積極的に低公害車を選ぶ	179	11.4%
2	価格、機能、省エネ性能などを総合的に考えて選ぶ	847	54.0%
3	低公害車が環境によいことは理解するが、購入費用が高 いので敬遠する	271	17.3%
4	あまり効果はないと思う	40	2.5%
5	自動車に乗らない	194	12.4%
	無回答	38	2.4%
	合計	1,569	100.0%

C エコキュート

（1つだけ○印）

項目		回答数	構成比
1	給湯器を取り替える際には、積極的に導入したい	344	21.9%
2	価格、機能、省エネ性能などを総合的に考えて選ぶ	744	47.4%
3	環境によいことは理解するが、購入費用が高 いので敬遠する	241	15.4%
4	必要であると思わない	69	4.4%
5	よくわからない	126	8.0%
	無回答	45	2.9%
	合計	1,569	100.0%

D 太陽光発電システム

（1つだけ○印）

項目		回答数	構成比
1	積極的に省エネのために、設置したい	158	10.1%
2	機会があれば考える	642	40.9%
3	環境によいことは理解するが、購入費用が高 いので敬遠する	604	38.5%
4	必要であると思わない	52	3.3%
5	よくわからない	83	5.3%
	無回答	30	1.9%
	合計	1,569	100.0%

6. 高知県の教育について

平成19年度から実施されている「全国学力・学習状況調査」の結果から、本県の公立中学校の学力は^{ぜんこくすいじゆん}全国水準^{しんこく}を大きく下回り、深刻な状況が明らかとなりました。また、^{ふとうこう}不登校の出現率や^{しゅつげんりつ}暴力行為の発生率も^{ぼうりょくこうい}全国平均を大きく上回り、子どもたちの心の問題でも厳しい教育課題を抱えています。

あわせて、国（文部科学省）が昨年度初めて実施した「平成20年度全国体力・運動^{のうりょく}能力、運動習慣等調査」の結果から、調査対象である高知県の小学5年生、中学2年生の体力は、全国最低の水準ということが明らかになりました。

また、調査から、次のような特徴^{とくちょう}があることがわかりました。

- ・ほとんどの実技^{じつぎこうもく}項目で全国平均より大きく下回る傾向^{けいこう}にある。
- ・小学校では、運動^{ひんど}する頻度や時間が少ない児童が多い。
- ・運動に対する嗜好^{しこう}においても、「運動がすき」「運動が得意」と答えた割合は全国より低い。
- ・小学校では、土曜日・日曜日の運動頻度、時間とも全国平均より低い。

問20 あなたは、高知県の中学生の「平成19・20・21年度全国学力・学習状況調査」の結果が、全国水準を大きく下回っていたことを知っていましたか。

(どちらかに○印)

	項目	回答数	構成比
1	知っていた	1,374	87.6%
2	知らなかった	167	10.6%
	無回答	28	1.8%
	合計	1,569	100.0%

問 21 あなたは、このような高知県の中学生の学力の状況をどのように思いますか。
(1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	大いに問題である	946	60.3%
2	少し問題である	426	27.2%
3	あまり問題はない	125	8.0%
4	全く問題はない	15	1.0%
	無回答	57	3.6%
	合計	1,569	100.0%

→ 副問 問21で「1」又は「2」を選んだ方のみお答えください。

あなたは、これまでの中学生の学力向上のための取組のうち、特にどこに
問題があったと思いますか。
(1つだけ○印)

N=1,372

項目		回答数	構成比
1	県や市町村の教育委員会の施策	318	23.2%
2	学校や教職員の努力	300	21.9%
3	保護者や地域の人々の関心の寄せ方	249	18.1%
4	中学生自身の学校内での学習	263	19.2%
5	中学生自身の学校以外での学習	96	7.0%
6	その他	83	6.0%
	無回答	63	4.6%
	合計	1,372	100.0%
	非該当	197	

問 22 あなたは、高知県の小中学生の「平成20年度全国体力・運動能力、運動習慣
等調査」の結果が、全国最低の水準であったことを知っていましたか。

(どちらかに○印)

項目		回答数	構成比
1	知っていた	1,127	71.8%
2	知らなかった	406	25.9%
	無回答	36	2.3%
	合計	1,569	100.0%

問 23 あなたは、このような高知県の小中学生の体力の状況をどのように思いますか。
(1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	大いに問題である	909	57.9%
2	少し問題である	462	29.4%
3	あまり問題はない	119	7.6%
4	全く問題はない	12	0.8%
	無回答	67	4.3%
	合計	1,569	100.0%

→ 副問 (問23で「1」又は「2」を選んだ方のみお答えください。)

あなたは、これまでの小中学生の体力向上のための取組のうち、特にどこに問題があったと思いますか。
(1つだけ○印)

N=1,371

項目		回答数	構成比
1	県や市町村の教育委員会の施策	325	23.7%
2	学校や教職員の努力	228	16.6%
3	保護者や地域の人々の関心の寄せ方	308	22.5%
4	小中学生自身の学校内での運動	155	11.3%
5	小中学生自身の学校以外での運動	234	17.1%
6	その他	73	5.3%
	無回答	48	3.5%
	合計	1,371	100.0%
	非該当	198	-

高知県では、こうした本県が抱える教育課題の解決を図るために、「学力向上・いじめ問題等対策計画」（学ぶ力を育み 心に寄りそう 緊急プラン）を策定し、子どもたちがこれからの社会を生き抜いていくための基礎学力をしっかりと身につけること、また、いじめや不登校などで悩んでいる子どもたちの心に寄りそうことが急務であると考え、平成23年度までに「全国水準にまで改善」を目標として取り組んでいます。

また、教育の振興を図るため、すべての県民を対象とし、乳幼児教育や学校教育、生涯学習も含めた総合的・体系的な計画である「高知県教育振興基本計画」を策定し、県民の皆様とともによりよい教育の振興に取り組んでいく予定です。

問 24 あなたは、現在、学力や体力向上、いじめ・不登校などのための取組「学力向上いじめ問題等対策計画」が進められていることを知っていますか。

（1つだけ○印）

項目		回答数	構成比
1	具体的な取組の内容を知っている	52	3.3%
2	具体的な内容は知らないが、取組が進められていることは知っている	892	56.9%
3	知らない	578	36.8%
	無回答	47	3.0%
	合計	1,569	100.0%

「学力向上・いじめ問題等対策計画」では、次の5つの改革と体力づくりに重点をおいて取り組んでいます。

- ・ 学校・学級改革（児童生徒の基礎学力の定着^{ていちゃく}と学力向上）
- ・ 教員指導力改革（教職員の指導力の向上）
- ・ 幼児教育改革（就学^{しゅうがく}前教育の充実）
- ・ 心の教育改革（いじめや不登校等対策）
- ・ 放課後^{ほうかご}改革（家庭や地域における教育への参加）
- ・ 体力づくり（体力・運動能力の向上）

また、この取組を「高知県教育振興基本計画」にも位置づけ、中長期的な取組を進めることを予定しています。

問 25 「学力向上・いじめ問題等対策計画」や「高知県教育振興基本計画」などの計画が、成果を上げていくために、今後、特に必要となると考えるものは何ですか。
（2つまで○印）

項目		回答数	回答比率
1	学校、教職員のさらなる指導力の向上	692	44.1%
2	県民一人一人の教育に対する意識の向上	378	24.1%
3	地域の人々による教育へのサポートや教育への参加	110	7.0%
4	家庭における教育力の向上や親としての役割の重要性の認識	880	56.1%
5	県や市町村の教育委員会による学校への支援・指導	178	11.3%
6	子どもが学習に集中できる教育環境の整備	328	20.9%
7	教育予算の充実や教職員の人員の拡充	190	12.1%
8	その他	50	3.2%
	無回答	44	2.8%
	合計	1,569	-

教育委員会では、高知県の将来を切り拓くためにも、子どもたちをみんなで守り育てる教育的な風土づくりが必要だと考えています。そのための1つの方策として、県民全体で教育について考えるきっかけとなるよう「教育の日」を定めることを「教育振興基本計画」に盛り込む予定です。

問 26 高知県が「教育の日」を定めた場合、その日にちなんだ取組としてどのようなものが望ましいと思いますか。
(3つまで○印)

項目		回答数	回答比率
1	県内すべての学校を公開するため参観日や参観週間を設定する	301	19.2%
2	学校や市町村、地域で講演会や発表会などを開催する	170	10.8%
3	全県的な教育フェアやフォーラムを開催する	182	11.6%
4	子どもから大人まで県民一人ひとりが読書に取り組む運動を展開する	226	14.4%
5	県内全ての校区で登下校時等の子どもの見守り活動、あいさつ運動を展開する	472	30.1%
6	家族で一つのことを話し合う「家族会議」を実施する	257	16.4%
7	早ね・早おき・朝ごはん運動をさらに全県的な運動に展開する	493	31.4%
8	学校や地域でふるさとの海や山、川などの自然や伝統文化を生かした体験活動を実施する	560	35.7%
9	新米パパやママ、妊婦等を対象とした子育て相談会や講習会を開催する	199	12.7%
10	全県的に仕事と家庭の両立を図るため、企業の協力を得て、ノー残業デーを実施する	217	13.8%
11	企業による県民を対象とした社会見学の実施やインターンシップの積極的な受け入れを行う(※企業によるインターンシップ)	126	8.0%
12	美術館や博物館などの文化施設を無料開放する	319	20.3%
13	清掃活動や花いっぱい運動などの社会貢献活動を全県的に実施する	345	22.0%
14	その他	64	4.1%
	無回答	65	4.1%
	合計	1,569	-

問 27 今後、前問（問 26）のような教育関連行事きょういくかんれんぎょうじが実施された場合、あなたはこのような行事に参加されますか。 （1つだけ○印）

項目		回答数	構成比
1	積極的に参加する	254	16.2%
2	どちらかというに参加する	690	44.0%
3	どちらかというに参加しない	138	8.8%
4	参加しない	123	7.8%
5	わからない	301	19.2%
	無回答	63	4.0%
	合計	1,569	100%

問 28 あなたは、「教育の日」をどのように設定すると、問 26 の取組に県民一人ひとりが取り組みやすく効果が上がると思いますか。 （1つだけ○印）

項目		回答数	構成比
1	「教育の日」を定め、その日に取組を展開する	214	13.6%
2	「教育の日」とその日を含む1週間を教育週間と定め、その1週間の中で取組を展開する	405	25.8%
3	「教育の日」とその日を含む1月間を教育月間と定め、その1カ月間の中で取組を展開する	156	9.9%
4	「教育の日」として毎月特定の日を指定し、毎月その日に取組を展開する	419	26.7%
5	その他	51	3.3%
6	分からない	244	15.6%
	無回答	80	5.1%
	合計	1,569	100.0%

7. 振り込み詐欺について

平成 20 年中における振り込み詐欺被害の発生状況は、全国で 20,481 件、約 275 億 9,440 万円、高知県内では 170 件、約 1 億 6,640 万円と発生件数、金額とも多発状況にあり、警察では深刻なものと受け止め、振り込み詐欺撲滅に向けた取組を強化しているところです。県民の皆様には、振り込み詐欺に対する関心を大いに持っていただき、被害防止意識を高めて、被害を未然に防止していきたいと考えています。

振り込み詐欺とは

オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺の総称です。

〈オレオレ詐欺〉電話を利用して親族、警察官、弁護士等を装い交通事故の示談金等の名目で、現金を預金口座に振り込ませるなどの方法によりだまし取る手口

〈架空請求詐欺〉郵便、インターネット等を利用して不特定多数の者に対し、架空の事実を口実とした料金を請求する文書等を送付するなどして、現金を預金口座等に振り込ませるなどの方法によりだまし取る手口

〈融資保証金詐欺〉実際には融資しないにも関わらず、融資する旨の文書等を送付するなどして、融資を申し込んできた者に対し、保証金等を名目に現金を預金口座等に振り込ませるなどの方法によりだまし取る手口

〈還付金詐欺〉税務署や社会保険事務所、自治体の職員をかたり、税金の還付金等に必要手続きを装って被害者に A T M を操作させて、口座間送金により現金をだまし取る手口

問 29 振り込み詐欺に関する知識はどのくらいありますか。 (1 つだけ○印)

項目	回答数	構成比
1 振り込み詐欺について詳しく知っている	577	36.8%
2 振り込み詐欺について少しは知っている	860	54.8%
3 「振り込み詐欺」という名称を知っている程度であり知らない	84	5.4%
4 振り込み詐欺のことについては全く知らない	8	0.5%
無回答	40	2.5%
合計	1,569	100.0%

問 30 振り込め詐欺に関する知識をどこで得ましたか。

(当てはまるものすべてに○印)

項目		回答数	回答比率
1	テレビ	1,477	94.1%
2	ラジオ	337	21.5%
3	新聞	1,082	69.0%
4	ポスター	403	25.7%
5	インターネット	185	11.8%
6	友人、知人や家族	347	22.1%
7	防犯教室等での講話	74	4.7%
8	警察や県、市町村のチラシ、広報紙、ホームページ	582	37.1%
9	警察等の防犯活動	252	16.1%
10	銀行、郵便局のチラシや冊子など	580	37.0%
11	その他	19	1.2%
12	振り込め詐欺については、よく知らない	9	0.6%
	無回答	36	2.3%
	合計	1,569	-

問 31 振り込め詐欺について家族で話したことがありますか。

(1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	家族で話して対策を決めている	425	27.1%
2	話はしたが、対策は決めていない	778	49.6%
3	話をしたことはない	283	18.0%
4	覚えていない	21	1.3%
	無回答	62	4.0%
	合計	1,569	100.0%

問 32 過去に振り込め詐欺だと疑われる電話やハガキ等を受けたことがありますか。
(1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	複数回ある	317	20.2%
2	1度ある	297	18.9%
3	ない	863	55.0%
4	覚えていない	33	2.1%
	無回答	59	3.8%
	合計	1,569	100.0%

問 33 被害を防止するためどのような対策が有効だと思いますか。
(1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	詐欺の手口や発生情報などの情報提供	675	43.0%
2	警察等による家庭訪問指導	75	4.8%
3	家族、知人等での話し合い	285	18.2%
4	講習会・研修会などへの参加	19	1.2%
5	振り込みを行う金融機関等の ATM (自動現金預払機)での声かけ	184	11.7%
6	警察や県・市町村などによる啓発活動	171	10.9%
7	その他	31	2.0%
8	わからない	40	2.5%
	無回答	89	5.7%
	合計	1,569	100.0%

問 34 警察等による振り込め詐欺被害防止対策等の中で知っているのはどれですか。

(当てはまるものすべてに○印)

項目		回答数	回答比率
1	チラシ、携帯ティッシュ、リーフレットの配布やポスター掲示等による広報活動	756	48.2%
2	テレビ、ラジオ及び新聞等のマスメディアを利用した広報活動	1,179	75.1%
3	年金支給日に伴う「ATM集中警戒日」での被害防止警戒活動	522	33.3%
4	高知県警察ホームページ「こうちのまもり」への掲載による広報啓発活動	77	4.9%
5	振り込め詐欺専用のメール情報システムによる情報収集	54	3.4%
6	警察官や地域安全アドバイザー等による振り込め詐欺を題材とした「寸劇、紙芝居、講話」やキャンペーン等による広報啓発活動	359	22.9%
7	知らない	101	6.4%
	無回答	72	4.6%
	合計	1,569	-

最後に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

以下のF 1からF 6までは、問1から問34までの回答が性別によってどう違うか、年代別にはどういう違いがみられるか、などといった分析をする上で必要な質問です。ぜひ、最後までお答えください。

F 1 性別 (1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	男性	669	42.6%
2	女性	848	54.0%
	無回答	52	3.3%
	合計	1,569	100.0%

F 2 年代別 (1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	20歳代	105	6.7%
2	30歳代	171	10.9%
3	40歳代	239	15.2%
4	50歳代	294	18.7%
5	60歳代	352	22.4%
6	70歳以上	354	22.6%
	無回答	54	3.4%
	合計	1,569	100.0%

F 3 職業別 (主なもの1つだけ○印)

項目		回答数	構成比
1	農林業	133	8.5%
2	漁業	14	0.9%
3	商工サービス業自営	93	5.9%
4	事務職	146	9.3%
5	技術職	141	9.0%
6	労務職	172	11.0%
7	管理職	60	3.8%
8	自由業	27	1.7%
9	主婦	233	14.9%
10	学生	22	1.4%
11	無職	354	22.6%
12	その他	109	6.9%
	無回答	65	4.1%
	合計	1,569	100.0%

F 4 子どもの状況（同居・別居にかかわらずお答えください。）

（当てはまるものすべてに○印）

項目		回答数	回答比率
1	就学前の子どもがいる	135	8.6%
2	小学生の子どもがいる	165	10.5%
3	中学生の子どもがいる	112	7.1%
4	高校生の子どもがいる	121	7.7%
5	大学生、専門学校生等の子どもがいる	104	6.6%
6	子どもはいない	370	23.6%
7	その他	682	43.5%
	無回答	94	6.0%
	合計	1,569	-

F 5 世帯の年間収入

（1つだけ○印）

項目		回答数	構成比
1	0～100万円未満	145	9.2%
2	100～200万円未満	276	17.6%
3	200～300万円未満	312	19.9%
4	300～400万円未満	239	15.2%
5	400～600万円未満	268	17.1%
6	600～800万円未満	113	7.2%
7	800～1000万円未満	66	4.2%
8	1000万円以上	50	3.2%
	無回答	100	6.4%
	合計	1,569	100.0%

F 6 お住まいの場所（広域市町村圏）

（1つだけ○印）

	項目	回答数	構成比
1	高知市	585	37.3%
2	安芸広域圏 （室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、 安田町、北川村、馬路村、芸西村）	99	6.3%
3	南国・香美広域圏 （南国市、香南市、香美市）	197	12.6%
4	嶺北広域圏 （本山町、大豊町、土佐町、大川村）	28	1.8%
5	仁淀川広域圏 （土佐市、いの町、日高村）	99	6.3%
6	高吾北広域圏 （佐川町、越知町、仁淀川町）	58	3.7%
7	高幡広域圏 （須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町）	113	7.2%
8	幡多広域圏 （宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、 黒潮町）	162	10.3%
	無回答	228	14.5%
	合計	1,569	100.0%

質問は以上です。長時間ご協力いただきありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、9月30日（水）までに、切手を貼らずに返送してください。

お手数をおかけしますが、よろしく申し上げます。



※この世論調査の調査結果は、平成22年1月上旬に広報広聴課ホームページ（<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/kocho-yoronchosa-index.html>）及び県庁本庁舎1階県民室で公表する予定です。また、20年度の結果は同様に公表しています。